

第6回「鹿児島港本港区エリアまちづくり懇談会」

結 果 概 要

1 開催日時・場所

令和7年8月25日（月）10：00～11：10

ホテルウェルビューかごしま 2階 潮騒（鹿児島市）

2 会次第

1 開会

2 説明 ※括弧書きは説明者

（1） 本港区エリアまちづくり事業の取組

- ・ トライアル・サウンディング（北ふ頭 しおかぜ通り）（県）
- ・ 事業化検討段階におけるサウンディング（北ふ頭エリア，ウォーターフロントパークエリア）（県）

（2） 本港区エリアまちづくりに係る動向

- ・ スポーツ・コンベンションセンターについて（県）

（3） 中心市街地との回遊性向上に向けた取組

- ・ マイアミ通りまちづくり協議会の取組状況（同協議会）
- ・ イベント情報の共有（県）

3 意見交換

4 閉会

3 意見交換（要旨）

（一般社団法人鹿児島市商店街連盟 会長）

- ・ トライアル・サウンディングは，コンテナ2台では少なく感じる。事業者は，SNSで発信するなどPRが必要。
- ・ トライアル・サウンディングで実施するアンケートの質問事項に，市内外や県外等のどこから来てどこに行く予定か，来場手段，年齢等を入れたらよい。
- ・ ゴミ箱，椅子，テントとテーブルは必要。西日がすごく当たるので，なるべく陰をつくることを考えた方がよい。

（本港区まちづくり推進室 室長）

- ・ PRやアンケート，ゴミ箱等については，県としても必要性を考えながら，事業者と詳細を詰めていきたい。

（鹿児島商工会議所 副会頭）

- ・ トライアル・サウンディングを実施した後に，北ふ頭エリアの事業化に入っていくと思うが，県として北ふ頭でこういう事業をしてほしいというものが

あり、それに手を挙げる事業者がいて、事業として成り立つかどうかを検討していく話だと思う。他県の先行事例で、上手くいっている事例を参考にすべき。

- ・ 全体の事業化については、より詰めた話をすべきで、その話をするのはこの場なのか、どこの場なのかを明確にしてほしい。
- ・ ウォーターフロントパークとスポーツ・コンベンションセンターは連携が大事。一方に飲食機能があり、一方にはない、同パークの利用者は同センター内のトイレを使用できるかどうかなど、一つ一つ押さえた上での事業化を考えてほしい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 北ふ頭エリアの事業化に向けて、まずは実証実験としてトライアル・サウンディングを行い、そのデータを次の事業化の参考にしていく。
- ・ 事業化検討段階におけるサウンディングにおいては、民間としてどこまでできるか等を含めて、事業スキームの検討や民間でできる部分、公共も入っていないといけない部分があるのか等の検討を踏まえ進めていきたい。
- ・ 事業を進めるに当たっては、進捗状況等について連携の場である懇談会において情報提供や意見交換を行い、いただいたご意見を参考に、最終的には県が、議会等を通じて進めていきたい。
- ・ ウォーターフロントパークは、スポーツ・コンベンションセンターの条件が確実に決まらなないと同パークの活用は難しいかというところも踏まえてサウンディングをしていきたいと考えている。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ スポーツ・コンベンションセンターがどういう形になるかについては、これから設計に入るため、そこが見えてからとなると、ウォーターフロントパークの活用が決まるのは数年後となり、それまでは何もできない、今までと全く変わらない状況になりかねない。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ スポーツ・コンベンションセンターとの連携が必要な部分、連携がなくてもできる部分等についても、サウンディング調査で聞いていきたい。

(鹿児島港運協会 事務局長)

- ・ トライアル・サウンディングは、本当にこのしおかげ通りで事業として成功するのか。目標数値とか、どういう形態だと持続可能というふうに判断されるのか。
- ・ トライアル・サウンディングを実施する際は、駐停車や歩行者の道路横断など、安全面に配慮してほしい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 実証実験として実施した収支データが、仮にこの事業内容では難しいとの結論が出たとしても、その事業性を見るためのトライアル・サウンディングであり、次の事業化の段階に進むための材料になると考えている。
- ・ 大型車の通行に対する安全管理への配慮等については事業者と相談し対応について検討する。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 住吉町 15 番街区の公募も応募が 1 者であり、公募要件が厳しかったというような理由があると思われる。また、事業として成り立たないから応募がなかったのではという心配がある。
- ・ 公募は公平でよいが、ある程度意見の集約があって進んでいく中で、民間も行政もお金を出し、みんなで進めるという話にならないと上手くいかない。公募をして、民間が行って成功している事例があったら教えてほしい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 今回の事業化検討段階におけるサウンディングにおいては、今後事業者を公募するに当たり、官民が連携して事業を実施するというスキームも検討の可能性はあるという中でサウンディング調査を実施し、最終的に県と事業者との間で事業スキーム等の調整が整うのであれば、次の段階の公募要項の検討になる。
- ・ 他県の民間の事業者公募を行った事例については、第 4 回懇談会等でお示したところ。

(県観光・文化スポーツ部 次長)

- ・ 住吉町 15 番街区は公募期間中に説明会や対話を実施し、複数の事業者の方が参加され関心は示していただいていたが、最終的に 1 事業者から提案書の提出があったところ。
- ・ 公有地の利活用ということで、透明性、公平性を担保する必要があることから、今回、このような形で事業を進めたところ。事業者の提案の評価に当たっては、収支計画書も提出いただき、その提案が実現可能かどうかも含めて評価を行う。

(鹿児島旅客船協会 事務局長)

- ・ スポーツ・コンベンションセンターの交通量調査は、同センターに係る部分のみで行うのか。本港区エリアでは、駐車場の問題や物流関係に対しての影響があるので、調査を行うのであれば本港区エリアの全体的な流れがわかるように調査してほしい。

(スポーツ・コンベンションセンター整備課 技術主幹)

- ・ 今回実施する調査は、スポーツ・コンベンションセンターの整備が交通渋滞の要因とならないようにすること、また、設計に先立って同センター敷地への車両の出入口や来場者の動線を決定する必要から、現況の交通量調査と将来の交通量予測を行うもの。
- ・ エリア全体の周辺までには至らないが、市街地から北ふ頭や南ふ頭まで、あるいは住吉町 15 番街区から北ふ頭までの道路は、同センターの車両動線に関連があるので、同センター敷地外のある程度の範囲は現況の交通量を調査する予定。この調査結果は、本港区全体として、交通渋滞を回避するための検討を行うに当たっても、活用できるものとして共有できると考えている。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 事業者公募により、基本的に、民間事業者に事業を実施いただく際は、駐車場や本港区線等の道路を踏まえて立地を検討いただくことになっており、交通量関係でいえば、段階的に事業化を行った際にも、その時点でできているものをしっかり確認しながら進めることになると考えている。

(県観光・文化スポーツ部 次長)

- ・ 住吉町 15 番街区の提案に当たっても、敷地にどのような施設を配置するか、敷地への入口をどこに設定するかというところは、周辺の交通量を踏まえてご提案いただくようお願いしている。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 市のマイアミ通りの開発について、スポーツ・コンベンションセンターが整備されたら（動線が）繋がると思うが、同センターの入口は一般的には2階になると考えられる。マイアミ通りはスポーツ・コンベンションセンターとの動線についてどう考えているか。

(鹿児島市建設局 都市計画課長)

- ・ 歩いて楽しめるまちづくりを進める上で、本港区エリアとマイアミ通りを繋ぐことは非常に重要であると考えており、本港区エリアコンセプトプランでペDESTリアンデッキのイメージも出ているので、スポーツ・コンベンションセンターの基本設計の中で出入口や人の流れをどういうふうに持っていけばよいかを確認しながら、安全面なども含めて県と協議していきたいと考えている。

(一般社団法人鹿児島市商店街連盟 会長)

- ・ 天文館に駐車場は約 1,600 箇所あり、12～13 分で本港区エリアに歩いて行けるので、天文館としてはなるべく本港区エリアと天文館の間を歩いていたきたい。中心市街地として、最終的にはそういうウォーカブルな街になっていけるように努力していきたい。

(NPO法人ゆめみなと鹿児島 専務理事)

- ・ クルーズ船でいえば、現在、ドルフィンポート跡地をツアーバスやシャトルバスの乗降場に使用しており、到着した観光客は水族館や桜島フェリーターミナル、もしくは天文館の方に流れるという、自然な流れができています。トライアル・サウンディングを実施する際は、クルーズ船等の観光客の動きも把握しながら実施してほしい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 本港区全体としての動線については、全体を繋ぐ中でのプロムナード等もエリアコンセプトプランにあるので、今後、サウンディングをしてできた機能に応じて検討になると考えています。

(鹿児島市建設局 都市計画課長)

- ・ 事業化検討段階のサウンディングは、資料において今年度とされているが、複数年かかるということか。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ サウンディング調査において事業スキームの検討の中で民間活力の導入が可能との方向性が定まれば、今年度公募要項等の作成にも取りかかりたいと考えています。

(鹿児島市建設局 都市計画課長)

- ・ 北ふ頭エリアの公募要項を作成する際は、全体像を見て作成してほしい。
- ・ トライアル・サウンディングは、水族館や桜島フェリーターミナル等との連携強化としているので、行政側からの後押しという点において、鹿児島市も歩いて楽しめるまちづくり事業の中で社会実験等を行っている経験もあるため、何かしら役に立てると思う。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 鹿児島市からいただいた意見については、県としても参考にしながら事業者とも話をし、また連携についてご相談できる場所はさせてほしい。

(鹿児島旅客船協会 事務局長)

- ・ トライアル・サウンディングの申し込みは1者だけか、もしくは、条件に合わなくて断念した事業者もいたのか。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 提案は1者であった。事業者が判断した結果だが、トライアルとして、先ずは1者でも行っていただければと思っている。
- ・ もう一度公募等が可能かどうかについては、事業期間をある程度長期間とらないと次の事業者公募に繋がらないため、今回の事業者の準備状況を踏まえ、改めて検討したい。

(県観光・文化スポーツ部 次長)

- ・ 情報提供として、住吉町15番街区の公募にかかる昨日の公開プレゼンテーションの様相を録画しており、本日からインターネットでアーカイブ配信を行っている。よろしければご覧いただきたい。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 県営駐車場の活用について、事業化検討をしていく中で、県営駐車場を含めて検討してもよいのではないか。駐車場を上手く使えば、収入も出てくるし、全体としての事業化が成り立つかもしれない。そういうことを考えたときに、手出しも何もなくて民間に事業を求めるものとだいぶ違うと思う。こういう事業はしてもよいと思う。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 今後、サウンディングを行う中で、まさに条件となると考えている。
- ・ 民間として実施する施設に駐車場がどのくらい必要かとなったとき、駐車場も範囲に含まれるのか、また、スポーツ・コンベンションセンター自体の駐車場をどうしていくかの話もあるため、それらを考慮しながら県として調整できるかというところも進めていく中で判断していかなければいけないと考える。